



TEL 0766-251555
FAX 0766-251550
E-mail info@ki-shouten.com

平成十九年六月二十日
〒九三二〇八〇
高岡市問屋町四十
有限会社 沖商店発
2019.6.20

いつもお世話になりありがとうございます。

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょう』という言葉を皆様と一緒に考え、意見を交換し合って、共に研鑽を深めて行きたい。そんな思いで本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚の無いご意見をお寄せくださいませ。

一 過当競争の果て

今月十一日(月)私の息子が「同業者のN繊維のオーナーが従業員に対して『私たち一族は経営から抜けます。貴方達が続けたいなら貴方達だけでやってください』、と言ったらしい」というニュースを耳にした」と私に知らせました。私は自分の耳を疑いましたが、経営者としては理解できないこともありませぬ。なぜなら、私も沖商店でも、今日の過当競争による利幅の減少と納品に際しての手数の大負担などによる人件費の増大により、極端に経営悪化に陥っています。「バブル経済前の神武景気・岩戸景気以上に好景気が続いている」と言われている今日の日本経済ですが、私どもの業界はその恩恵には与っていません。むしろ衰退の一途を辿っています。私どもの業界に限らず、近頃、あちらこちらで耳にするのは「品物は売れるのだが儲からない」という言葉です。今日のめまぐるしく変化する社会のニーズとシステムに順応できない体質の業界・会社・商店は消え行くのみです。

しかし、消え行く業界・会社・商店の中には、その果たしていた役目が全く不要だったわけではなく、必要部分もありました。すなわち、社会のニーズはあるのだが、システム・やり方が悪いから営業を続けていけない、と言う場合が少なくないのです。

今日の夜方化した社会で大変便利がられ、利用範囲もどんどん広がっている時代の花形、コンビニエンスストアの業界でさえ、数が過剰になり過ぎて、やり方の悪い店舗では閉店・交代する所も少なからず見受け

られるようになりました。

斜陽産業の私どもの業界も、不必要な部分と必要とされる部分があります。漫然と、これまでの考え方・やり方を続けていては衰退・消え行くのみです。社会の変化・ニーズと自社の役割を可案し、自らを社会に適合した適切な規模・形態の会社に改善して行くべきです。それで、私どもでは決算期(7月31日)を迎えるにあたり、会社規模・形態の大改造を計画してまいりました。来期(8月1日)より実施します。

そんな矢先、この度のN繊維のオーナーの決断を耳にし、身につまされる思いです。

二 コムスンの不正に思う

訪問介護サービス事業の最大手の「コムスン」が、厚生労働省から事業所指定の打ち切り処分を受けた。 「コムスン」に限らず、介護保険がスタートした平成十二年度からこれまで、無資格者を在宅介護に従事させたり、架空サービスや時間・回数の水増しなど虚偽の請求による介護報酬の不正受給などで、指定を取り消された事業所が約四百六十ヶ所に上ると言いますから、人の欲と悪知恵にはほとほとあきれさせられます。

只「コムスン」の指定を取り消される前に廃止届けを出して処分を逃れていたことは、極めて悪質であります。この度、一事業所だけでなく「コムスン」全が対象とされたため、そっくり「日本シルバースービス」に事業譲渡しようとしたのは、これまでの手法の延長であり許されることではありません。悪事がばればれば止めれば良いのに、看板を変えて亦始めるのです。この点が極めて悪質です。樋口公一社長の引責辞任も一種の芝居です。辞めればよいというものではありません。

この度の不正事件発覚にあたり、私ならこうすると言ふ意見を述べてみます。 この度の不正事件は介護保険に限らず一般医療保険の業界にも少なからず有ると思えます。 先日、私の住んでいる高岡市の隣り・氷見市の市民病院が、医者不足のために、科によっては閉鎖も考えなければならぬという報道がされてきました。氷見市民病院に限らず、わが高岡市民病院も含め、大方の公立病院では、公金の大幅補助なしに経営はできないのではないのでしょうか。それに比べ医療法人も含め、個人経営の病院は経理の面がしっかりし

ています。これは勿論トップの意識の違いでしょうが、経理面を頭において経営すれば、「架空診療」とまでは言いませんが、治療報酬請求の点数を上げた

私どもが物品を販売する際には、納品書を付けます。そこには、最低、品番・品名・数量・単価・合計金額が明記されています。何か問題があった場合、品番・品名によりその物品のメーカーをはじめ品質縫製仕様など微に入り細に亘って解るようになっていきます。それにより原因が分かれば責任の所在も明らかになり、瑕疵およびユーザー側の責任でなければ有責者が弁償します。(自動車や機械製品のリコール、食品やおもちゃ業界の販売中止と回収など) それを医療保険・介護保険にも取り入れます。

患者は病院から、病名・病状・治療明細・投薬内容を明記した請求書に基づき代金(治療費)を支払います。その後、保険会社や保険機関へ申請し、相応の保険料を貰います。保険会社や保険機関は請求書をチェックして不審な点があれば当該病院へ問い合わせます。また、定期的あるいは抜き打ち的に査察できるようにしておきます。そして不正が発覚した際は、指定の取消だけでなく、懲罰・罰金を与えるようにします。悪いことをすれば「利点を失う」だけでは生ぬるい。その償いをさせるのが当然だと思えます。厳しく罰を与えることが犯罪を抑制することは、罰金・懲罰の増大による飲酒運転の極端な減少を見れば明らかであります。

しかしその反面、過剰な労働をしなくても充分なだけの、適切な医療報酬システムの見直しも必要かと思えます。

三 NOVAの業務停止命令

英会話学校最大手のNOVAが誇大な広告で利用者をお誘いしたり、受講契約時に虚偽の説明をするなど特定商取引法に違反する行為があったとして、経済産業省から一部業務の停止を命ぜられました。

これも前項の「コムスン」の不正とよく似ていますが本質は違います。「コムスン」や医療機関の保険金不正請求は、ほって置けばどんどんエスカレートし、どれだけ保険料をアップしても基金が不足し、遂にはシステム破綻に追い込まれます。片方、NOVAの「誇大な広告」や「受講契約時の虚偽の説明」によるトラブルは、個人的契約に於いて、契約者がよく内容を確かめずに契約した結果で、欧米や中国では考えられない事件です。日本人は島国育ちのた

め他民族に征服されたことも無く、約束事も明記しなくても守るべきものというのが常識になっていました。欧米や中国では、他民族同士の戦争や移住により民族が混じりあい、言葉や考え方が異なるので、約束事は微に入り細に亘って明記するのが常識です。そんな意味からこの度のNOVA問題は、日本人が「契約」に対しても慎重になるためのよい機会で、経済産業省が仲へ入らずに、騙された人に懲りさせ自己責任ということを教えた方が今後、このような問題が少なくなるのではないかと私は思っています。「ねずみ講」も同様、ちよっと考えれば判る事で、騙される人の自己責任だと思えます。

四 北朝鮮・朝鮮総連

19日北日本新聞朝刊35面に「経営破たんした在日朝鮮人系信用組合から不良債権を譲り受けた整理回収機構が実質的な融資先の在日朝鮮人総連合会(朝鮮総連)に約六百二十七億円の返済を求めた」として、東京地裁は十八日、朝鮮総連に請求通りの支払いを命じ、判決確定前の資金回収を可能とする仮執行も認めた」と報道されました。

これに先立ち先日より「東京都千代田区にある朝鮮総連中央本部の土地・建物」が、差し押さえを防ぐため、緒方重威・元公安調査庁長官が社長の投資顧問会社に三十五億円で売却する契約を五月末に締結し所有権を移転。しかし代金未払いのため緒方元長官や朝鮮総連側代理人土屋公献・元日弁連会長の自宅が東京地裁特捜部に、不正に所有権移転登記をした容疑で家宅搜索された」という報道がなされていて、何故日本の元重要な任に就いていた人達が、北朝鮮のために悪事の助けをするのか不思議に思っていたところでした。彼らは北朝鮮による日本人拉致問題を如何思っているのでしょうか。

北朝鮮の核廃絶に関する六カ国協議も、マカオの金融機関からの送金がなされ、愈々、北朝鮮が寧辺の核施設の活動を停止する番です。

ヤクザより性質の悪い北朝鮮の今後の挙動に注目して行きますよう。

有限会社 沖商店 代表取締役 沖昌弘
個人メール E-mail Okiz2525@ki-shouten.com
にこにこ通信への意見をはじめ個人的な連絡は「ちちへくたご」